

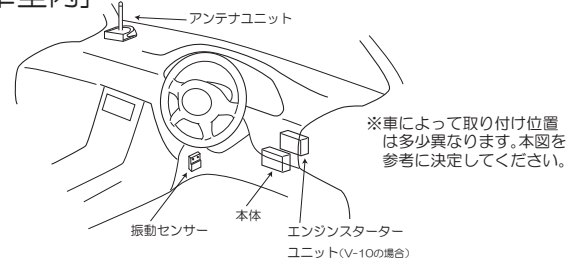
# 取り付け作業

## 取り付け前の事前準備

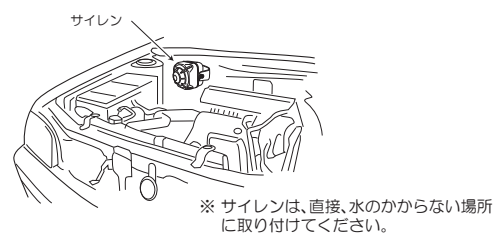
- パーキングブレーキをしっかりと引き、シフトレバーをPレンジの位置にしてください。
- エンジンキーは、必ず抜いてください。  
カードキー等によるエンジン始動システム装着車は、不用意にエンジンがかからないようにしてください。
- リモコンへ電池を挿入してください。詳細は、17ページの「電池の挿入」を確認してください。
- 取り付け工具を用意してください。  
プラスドライバー・プライヤー・ニッパー・スパナ・アナログテスター等。(工具は同梱されていません。)
- 必要に応じ、カバー類を取り外してください。

## 取り付けレイアウトイメージ

### [車室内]



### [エンジンルーム内]



## メインハーネスの配線

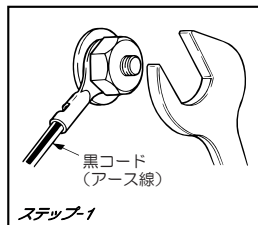
**V-1取り付けの場合** :ステップ1～4の接続を行い、56ページの「振動センサーの取り付け」へ進んでください。

**V-10取り付けの場合** :ステップ4の接続を行い、56ページの「振動センサーの取り付け」へ進んでください。

### ステップ1 黒コード(アース線)を接続します。

**注意** 塗装されている金属部分や車の振動等で緩んでしまう場所に接続しないでください。動作不良の原因となります。

メインハーネスの黒コードを車体の金属部分へ接続します。



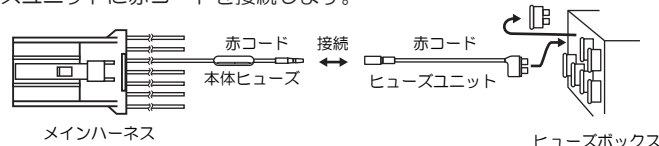
### ステップ2 赤コード(常時電源線)を接続します。

付属のヒューズユニット(赤コード)またはエレクトロタップを使用し、赤コードを接続します。

#### ●ヒューズユニット(赤コード)による接続方法

**注意** ヒューズユニットは、必ず車両側の青色(同じ定格電流)ヒューズと差し替えてください。色の違うヒューズと差し替えた場合、ヒューズが切れたり、車両側に悪影響を与える恐れがあります。

- ①車両側のヒューズボックスの中で常時+12Vを示す青色ヒューズをテスターで探します。
- ②付属のヒューズユニット(赤コード)の中から①で探したヒューズと同じ大きさのを選び、差し替えます。
- ③ヒューズユニットに赤コードを接続します。



#### ●エレクトロタップによる接続方法(車室内に該当する青色ヒューズがない場合)

**注意** エレクトロタップで配線する際は、エレクトロタップのカバーを確実にロックしてください。エレクトロタップの金属部分が車体の金属部分に接触するとショートし、火災・故障の原因となります。テーピングすることをお奨めします。

- ①車両側の配線で常時+12Vを示すコードをテスターで探します。
- ②赤コードのギボシ端子部を切断します。
- ③赤コードを①で探したコードにエレクトロタップで接続します。

**メモ** 赤コード接続用のエレクトロタップは、同梱されていません。エレクトロタップを別途用意してください。エレクトロタップは、自動車用低電圧線(AVS線)0.5mm<sup>2</sup>サイズ適応品を使用してください。

# 取り付け作業(つづき)

## メインハーネスの配線(つづき)

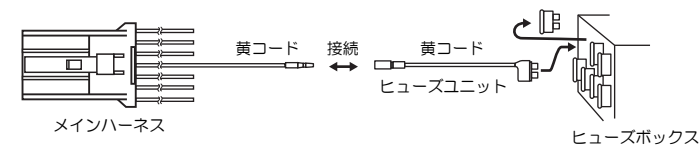
### ステップ3 黄コード(IG線)を接続します。

付属のヒューズユニット(黄コード)またはエレクトロタップを使用し、黄コードを接続します。

#### ●ヒューズユニット(黄コード)による接続方法

**注意** ヒューズユニットは、必ず車両側の青色(同じ定格電流)ヒューズと差し替えてください。色の違うヒューズと差し替えた場合、ヒューズが切れたり、車両側に悪影響を与える恐れがあります。

- ①車両側のヒューズボックスの中で、エンジンキーが「OFF」「ACC」のときに0V、「ON」のときに+12Vを示す青色ヒューズをテスターで探します。
- ②付属のヒューズユニット(黄コード)の中から①で探したヒューズと同じ大きさのを選び、差し替えます。
- ③ヒューズユニットに黄コードを接続します。



#### ●エレクトロタップによる接続方法(車室内に該当する青色ヒューズがない場合)

**注意** エレクトロタップで配線する際は、エレクトロタップのカバーを確実にロックしてください。エレクトロタップの金属部分が車体の金属部分に接触するとショートし、火災・故障の原因となります。テーピングすることをお奨めします。

- ①車両側の配線でエンジンキーが「OFF」「ACC」のときに0V、「ON」のときに+12Vを示すコードをテスターで探します。
- ②黄コードのギボシ端子部を切断します。
- ③黄コードを①で探したコードにエレクトロタップで接続します。

**メモ** 黄コード接続用のエレクトロタップは、同梱されていません。エレクトロタップを別途用意してください。エレクトロタップは、自動車用低電圧線(AVS線)0.5mm<sup>2</sup>サイズ適応品を使用してください。

### ステップ4 茶コード(ドアスイッチ入力線)を接続します。

**注意** エレクトロタップで配線する際は、エレクトロタップのカバーを確実にロックしてください。エレクトロタップの金属部分が車体の金属部分に接触するとショートし、火災・故障の原因となります。テーピングすることをお奨めします。

**注意** 全てのドアを開めたときに0V、いずれかのドアを開けたときに+12Vとなる線へ接続する場合には、別途リレーが必要となります。

- ①全てのドアを開めたときに+12V、いずれかのドアを開けたときに0Vを示すコードをテスターで探します。
- ②茶コードを①で探したコードに付属のエレクトロタップ(赤色)で接続します。

**メモ** ・車によって茶コードを1ヶ所に配線しただけでは、全てのドアの開閉を検出できない場合があります。そのような場合は、付属のダイオードユニットを使用して茶コードを分岐し、各ドアのカーテシスイッチへ配線してください。分岐する際は、エレクトロタップと延長コードを別途用意してください。  
エレクトロタップは、自動車用低電圧線(AVS線)0.5mm<sup>2</sup>サイズ適応品を使用してください。  
・茶コード(ドアスイッチ入力線)の配線が困難な車は、車室内侵入感知用のオプションセンサー(超音波センサー、赤外線センサー、エリアセンサー等)を別途お問い合わせください。

